

令和3年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立柳沢小学校

●全国学力学習状況調査(小学校第6学年)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	丸山さんの文章の下書きの中の実線部 オで、波線部「すぐに」が詳しくしている 言葉として適切なものを選択する。	25.7	全体を通して、「話すこと・聞く こと」「書くこと」「読むこと」と いった「思考・判断・表現等」に 関わる領域において、話を聞 いたり、読んだりすることができる。特に、文章全体を概観し て効果的に読んだり、文章の 内容を的確に押さえ、解答を 選択したりすることができる。	「書くこと」に大きな課題が見ら れる。出題の領域は「読むこ と」であるが、しっかり文章の 内容を読み取ることができて も、それを自分の言葉でまと めたり、内容に関して自分の 考えを明確に述べたりする力 に課題が見られる。 また、「言葉の特徴や使い方 に関する事項」の領域におい て、修飾語の使われた方や漢 字を使って表現する力にも課 題が見られる。
	面ファスナーに関する資料を読み、面 ファスナーが国際宇宙ステーションの中 でどのように使われているのかをまとめ て書く。	35.1		
	面ファスナーに関する資料を読み、メ ストラルは、何をヒントに、どのような仕組 みの面ファスナーを作り出したのかをま とめて書く。	44.6		
	丸山さんの文章の下書きの中の実線部 ウを漢字を使って書き直す(積み重ね)	45.9		
算数	30mを1としたときに、12mが0.4に当 たるわけを書く。	47.3	「数と計算」「変化と関係」の領 域において、ほぼ全ての児童 に基礎的な力が付いている。 また、発展的な力が身に付い ている児童が多い。 「知識・技能」の観点に関し て、おおむね良好である。	「図形」「測定」の領域におい て課題が見られる。特に、簡 易な問題に対しては正答する 力が身に付いているが、答え の求め方を記述する問題に対 して、正答率が50%を切っ ている。 これは、国語の課題とリンク していると考えられる。
	二等辺三角形を組み合わせた平行四 辺形の面積の求め方と答えを書く。	47.3		
	帯グラフから、割合の違いが一番大きい 項目を選び、その項目と割合を書く。	52.7		
	二つのコースの道のりの差の求め方と 答えを書く。	60.8		